

一般質問

■七尾市内の県外事業者がインフラ工事を行うことへの対応について

関係住民への周知の徹底を！

質

県道城山線の電線路敷設工事について、歴史文化を守る視点から、どのような指導をするか。どのような指導を業者にしよう県に求めるのか。また、工事について施工業者から地域住民に知らされたのは、工事直前であったという。この周知が遅れたことをどうカバーするのか。今後、どのように工事中の交通情報などを市民に周知していくのか。伺う。

答

県道の通行規制は、関係法令に基づき、迂回路の有無や規制の方法の安全性等を確認し許可されるものであり、提出された書類には不備がなかったと聞いている。
通行規制は道路法により許可しているが、トラブル防止のため、事業者から工事着手前に関係する地元で説明するよう指導している。事業者からは、一部地元から意見が出ており、現在、工事は見合わせ、再度説明会を開き理解を求めると聞いている。情報は、ホームページ等にも掲載しており、新しい情報があれば、逐一掲載していく。



西川 英伸 議員 (新政会)



七尾城跡の石垣



七尾城跡への入口となる城山交差点

一般質問

■原発避難計画について

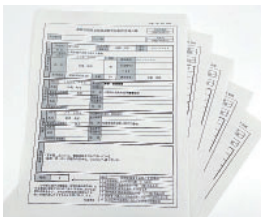
避難体制は十分か？

質

七尾市は、全国19原発の30km圏内で、自力で避難が難しい避難行動要支援者が県内で一番多い。新聞報道では、支援する側の体制の整備は6割が不十分と回答。災害弱者の命をどう守るのが課題である。そこで、次の3点について伺う。
①災害対策基本法での名簿、指針による個別計画は策定されているか。
②これまでの避難訓練で、地域で移動手段を確保し、要支援者そのものを、避難所まで移動させる訓練をしたことがあるか。
③現在の災害時避難計画は市民の命と安全が守られる計画か。

答

要支援者の基準を満たす者を登録し、情報の提供に同意のあった方々の支援台帳(個別計画)を整備し、町会長や民生委員に配布し、災害時のみならず平常時の見守りなどに活用している。
②遠距離避難で体調等を崩す心配があり、実際に広域避難訓練には参加していない。
③避難は県や近隣自治体と連携が必要。市の避難計画は県策定の避難計画に基づいており、市民の命と安全を守る計画となっている。



避難行動要支援者の登録台帳



儀貝 和典 議員 (無党派)



避難訓練の様子

一般質問

■新年度予算編成について

市長のカラーは出せたか？

質

2021年度予算案が示された。市長にとって初めての予算編成であり、これまで躊躇していた施策が展開されるものと期待している。そこで、予算編成に関して次の2点について伺う。
①市長就任後初の予算をどのような思いで編成したのか。
②新市長としてのカラーは出せたのか。重点事業についてはどうか。

答

①新年度予算は、「誰もが笑顔で暮らせるまちを目指して」をキーワードに、「地域資源を活かした交流人口の拡大を図り、まちなかの賑わいや港を活かした元気なまちをつくる」、「次代を担う子どもたちの健やかな成長を支え、市民の住みよい環境をつくり、誰もが生きがいを持って笑顔で活躍できる地域を目指す」という2つの基本的な目標を定めて編成した。

②新年度予算における市長のカラー (重点事業)

ふるさと創生ゆめ基金の創設	ふるさと納税寄付金を活用 地域づくり協議会の取組みを支援
商工業振興への予算配分	経済界との連携
ワーケーションの促進	羽咋市・中能登町と連携した移住・定住の促進
市外から転入して認定こども園等に就職した方への奨励金制度	保育士不足対策



佐藤 喜典 議員 (無党派)



令和3年度予算書と説明資料